

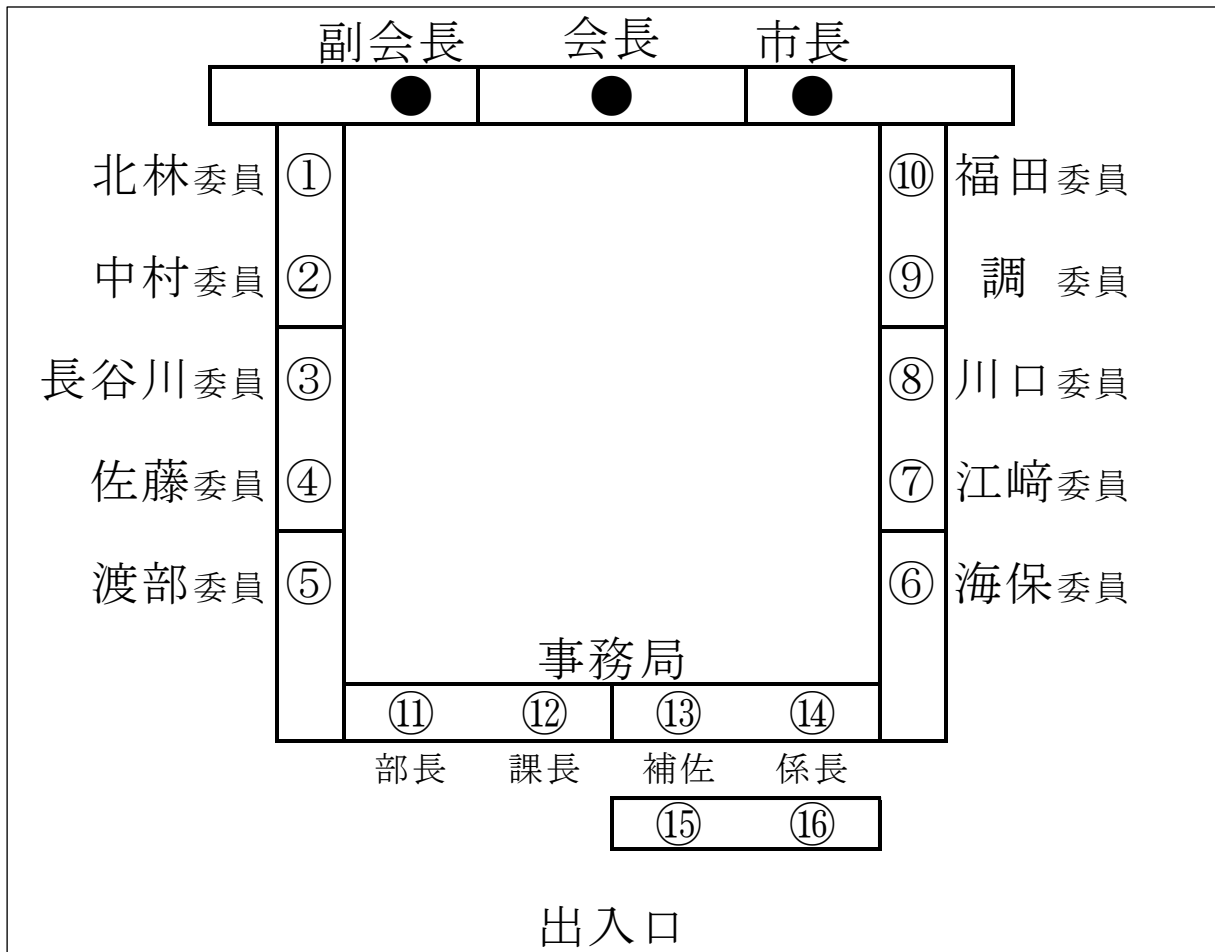
令和4年度第1回四街道市生涯学習審議会

(令和5年1月27日(金) 10時から、市役所障害者支援課2階会議室)

次第

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員及び職員紹介 [資料①]
4. 会長及び副会長の選出
5. 会議の公開等について
  - (1) 会議の公開について
  - (2) 会議録の作成について
  - (3) 議事録署名人について
6. 議題
  - ・ 第4次四街道市生涯学習推進計画の策定スケジュール等について [資料②～⑥]
7. その他
8. 閉会

<座席表>



※ ○の数字は、資料①の“No.”の番号に対応しています。

【資料①：次第3. 委員及び職員紹介】

1. 四街道市生涯学習審議会委員名簿

(任期：令和4年6月1日から令和6年5月31日まで)

(敬称略)

No.	氏名	選出区分	備考
①	北林 栄峰	学校教育の関係者	愛国学園大学附属四街道高等学校・校長
②	中村 嘉孝	生涯学習関係団体の代表者	四街道市スポーツ協会・常任理事
③	長谷川 睦美	生涯学習関係団体の代表者	四街道市芸術文化団体連絡協議会・会長
④	佐藤 光江	生涯学習関係団体の代表者	四街道市子ども会育成連合会・常任理事
⑤	渡部 洋	社会福祉関係団体の代表者	四街道市ボランティア連絡協議会・会長
⑥	海保 智行	社会福祉関係団体の代表者	四街道市シニアクラブ連合会・理事兼副会長
⑦	江崎 俊夫	学識経験のある者	植草学園大学地域連携推進室特命教授
⑧	川口 一美	学識経験のある者	聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科教授
⑨	調 知博	公募による市民	
⑩	福田 三千男	公募による市民	

2. 事務局等

No.	氏名	所属等
⑪	石川 智彦	教育部長
⑫	久保木 直樹	社会教育課長
⑬	長谷川 貴之	社会教育課・課長補佐
⑭	岩淵 陽子	学習振興係・係長
⑮	広沢 崇	学習振興係・主任主事
⑯	宇都宮 和希	学習振興係・主事

## 【資料②：次第6．議題】

### 第4次生涯学習推進計画の策定スケジュール等について

#### 1．関連状況の確認

第4次生涯学習推進計画の策定にあたり、関連する情報についてまとめます。

##### (1) 関連する計画の策定状況

本市では、市総合計画及び市教育振興基本計画についても、令和5年度末で現在の計画期間が終了することから、現在、新たな計画策定に向けて、取り組みを進めています。

- ① 新たな四街道市総合計画策定方針について [資料③]
- ② 第2期四街道市教育振興基本計画策定方針について [資料④]

##### (2) 近隣他市町の生涯学習推進計画の策定状況

- ① 策定している
  - ・成田市（令和7年度終了予定）、酒々井町（但し、社会教育計画として）
- ② 策定していない（市総合計画または教育振興基本計画に包括済み）
  - ・佐倉市、八街市、印西市、富里市、白井市、栄町

##### (3) 第3次計画の進捗状況の確認 [資料⑤]

評価	R 1	R 2	R 3
◎：十分に取り組むことができた（9割以上）	151	103	138
○：概ね取り組むことができた（6～8割程度）	156	134	132
△：あまり取り組むことができなかった。（5割以下）	2	41	19
×：殆ど取り組むことができなかった	0	31	20

計画初年度の令和元年度は、殆どが◎と○の評価でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くの事業が中止となりました。令和3年度には、ワクチンの普及など社会情勢の変化から事業が再開されたこともあり、状況の改善が見られています。

⇒ 令和2・3年度の実績から、コロナ禍においては、特に対面や接触、集合を必要とする施策にサービスの低下がみられたことから、第4次計画の策定にあたっては、その課題への対応も検討していく必要があります。

#### 2．策定スケジュール等について [資料⑥]

# 新たな四街道市総合計画策定方針



令和4年6月

四街道市経営企画部政策推進課

## 1. 策定方針について

本方針は、新たな四街道市総合計画（以下「新総合計画」という。）の策定にあたって、基本的な考え方や必要な事項を定めるものです。

## 2. 計画策定の趣旨（背景）

本市では、市政における最上位の計画として、平成26年3月に四街道市総合計画（以下「現総合計画」という。）を策定し、将来都市像「人 みどり 子育て 選ばれる安心快適都市 四街道」の実現に向け、計画に位置付けた諸施策を積極的に推進し、その着実な進展を図っているところです。

これまで少子高齢化に伴う人口構成の不均衡への対応や近年頻発する大規模災害等を教訓とした防災・減災対策などに取り組んできた現総合計画は、令和5年度で満了を迎えます。

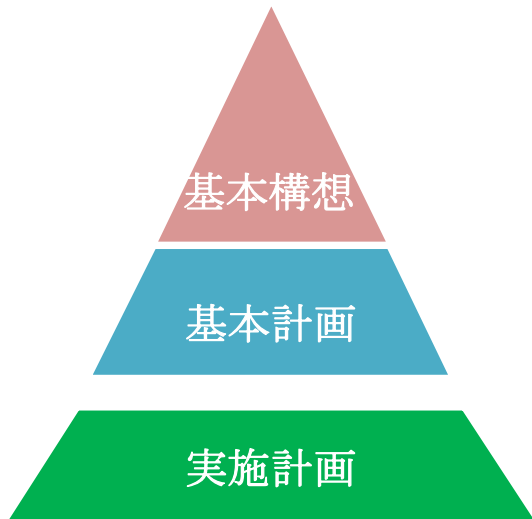
現総合計画の策定から8年が経過した現在、日本全体では引き続き人口が減少している中で、本市は人口増加が続いている数少ない自治体のひとつとなっています。しかし、将来的に見込まれる人口減少や人口構成の不均衡をはじめ、大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症などの諸課題への対応のほか、デジタル社会の進展や脱炭素社会の加速、持続可能な開発目標（SDGs）の実践など、本市を取り巻く環境の変化に適切に対応したまちづくりを進めていく必要があります。

そこで、これまでのまちづくりの基盤を継承しながら、社会経済情勢の変化や多様な市民ニーズに対応した誰もが暮らしやすいまちに向け、新総合計画を策定します。

### 3. 計画の構成と期間

#### (1) 計画の構成

新総合計画は、市政運営を総合的かつ計画的に推進するための最上位の計画と位置付け、「基本構想」・「基本計画」で構成します。また、計画に基づく具体的事業を「実施計画」で示します。



○基本構想 **《議決事項》**

中長期的な将来ビジョンとして、本市が目指すまちのイメージやまちづくりの方向性を示します。

○基本計画 **《議決事項》**

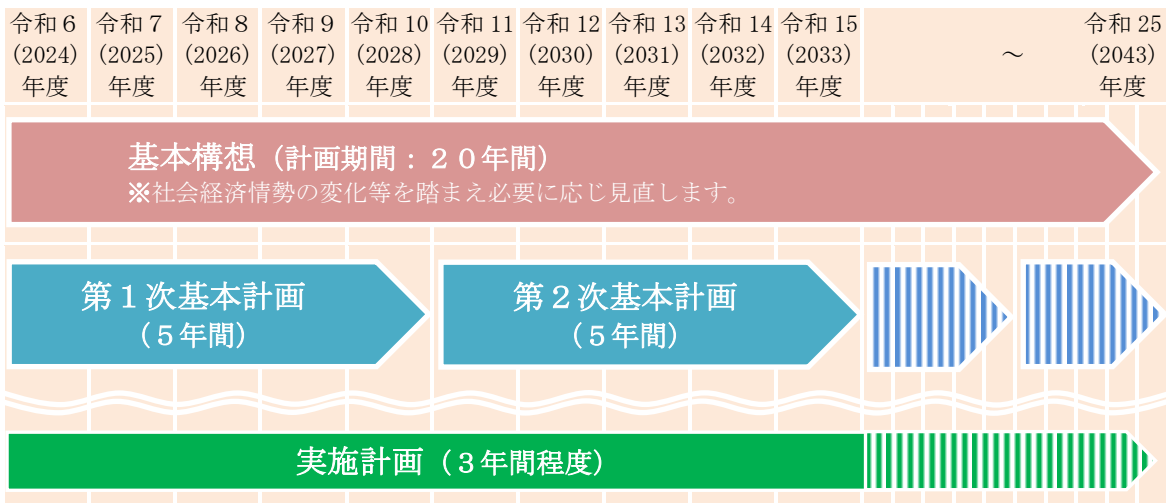
基本構想に基づき、その実現に向けた施策を体系的に定めるとともに、重点的に取り組むプロジェクトを示します。

・実施計画

総合計画の着実な推進を図るため、各施策・取組の展開に必要な具体的事業を示します。

#### (2) 計画期間

基本構想	(計画期間) 20年間 ※社会経済情勢の変化等を踏まえ必要に応じ見直します。
基本計画	(計画期間) 5年間
実施計画	(計画期間) 3年間程度



## 4. 策定における視点

### (1) 変化に対応できる計画

本市をとりまく社会経済情勢や行政需要の変化及び市民意識調査に基づく市民ニーズなどを把握・分析し、各分野における諸課題に適切に対応する計画とします。

また、基本構想では、これまで築いてきたまちづくりの流れを踏まえつつ、20年先を見据えた長期的な将来ビジョンを示すとともに、社会経済情勢の変化等を適切に捉えたまちづくりを進めるため、基本計画では、5年間を計画期間とし、さらに具体的な事業を実施計画にて示すことで、変化に対応できる長期的なまちづくりに取り組みます。

### (2) 市民とともに創る計画

総合計画の策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じた上で、新しい生活様式を踏まえインターネット等を活用した市民参加手法を実施し、市の将来を担う若い世代をはじめ、多くの市民や事業者、団体等が四街道市のまちづくりに参画しながら、ともに考え、ともに創り、ともに実践していける計画となるよう創意工夫しながら進めます。

### (3) 実効性のある計画

本市がめざすまちの将来都市像の実現に向けて着実に前進していくため、市の財政状況を踏まえつつ、重要度の高い施策や緊急度の高い事業などを優先して実施します。

また、各施策の推進にあたり、組織横断的な視点を取り入れるとともに、重点的に取り組む分野を定めることで、効率的で効果的な計画とします。

さらに、計画策定後の実効性を確保するため、各施策・事業を所管・推進する部署による進捗状況の点検・分析や適切な指標設定による達成度評価など、適正なPDCAの仕組みを構築します。

### (4) 持続可能なまちづくりのための計画

本市の発展に向けて、持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の観点を取り入れた計画とします。



## 5. 策定に向けた体制

### (1) 四街道市総合計画推進本部

市長を本部長とする「四街道市総合計画推進本部」において、組織横断的な調整、調査・検討を行い、庁内での最終的な意思決定を行います。

### (2) 四街道市総合計画審議会

市民や関係団体、外部有識者等で構成する「四街道市総合計画審議会」において、市長の諮問に基づき、必要な調査・審議を行い、各分野の専門的な知見を集約し、策定の各段階において有効に活用していきます。

### (3) 市民参加等

広く市民等の意見やニーズの把握に努めるため、「四街道市総合計画審議会」への市民参画をはじめ、市民意識調査結果の活用や市民会議（ワークショップ）、市民意見提出手続き（パブリックコメント）などの多様な市民参加手続きのほか、オンラインによる市長との意見交換会を実施するなど、多くの市民参画のもと、これらを十分に活かした計画を創ります。

### (4) 市議会

本市の条例において、基本構想及び基本計画の策定にあたっては、それぞれ市議会の議決を経るものと規定していることから、基本構想及び基本計画の各案を議案として市議会に提出します。なお、議案提出に限らず必要に応じて情報提供を行います。

# 第2期四街道市教育振興基本計画 策定方針

令和4年5月

四街道市教育委員会

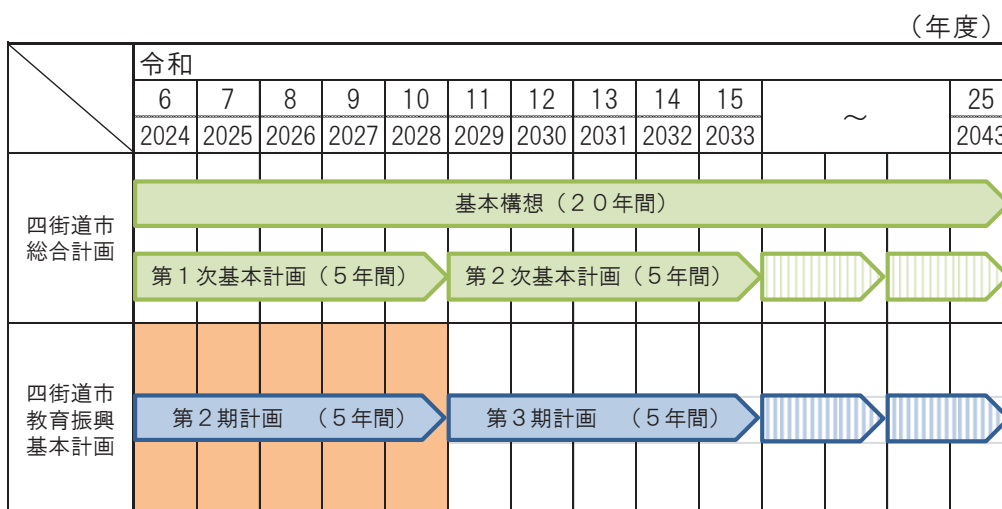
## 1. 計画策定の趣旨

市教育委員会では、教育基本法（第17条第2項）に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成25年3月に「四街道市教育振興基本計画」（以下「第1期計画」という。）を策定し、「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」を基本理念に掲げ、市の教育が目指す姿の実現に向けた諸施策の進展を図ってきました。

第1期計画が令和5年度をもって終了することから、その成果や諸課題等を踏まえ、さらなる教育の振興・充実を図るため、新たに「第2期四街道市教育振興基本計画」（以下「第2期計画」という。）を策定します。

## 2. 対象期間

第2期計画の対象期間は、市の最上位計画である「四街道市総合計画」（以下「総合計画」という。）の第1次基本計画と整合を図り、5年間とします。

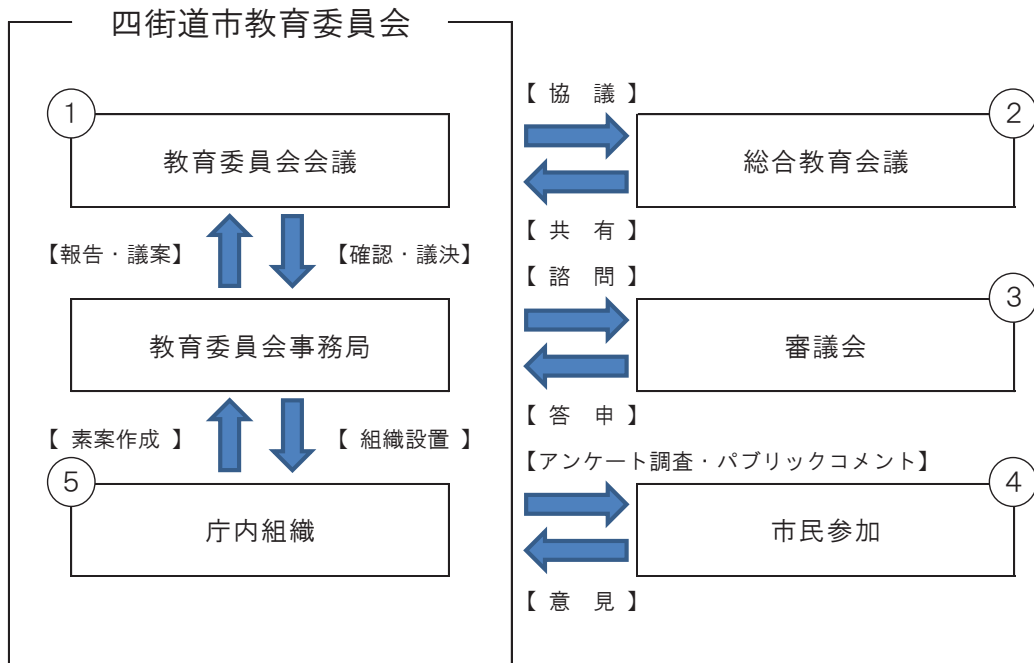


### 3. 策定の方法

#### (1) 基本的な考え方

- ・ 国及び県が定める「教育振興基本計画」を参酌します。
- ・ 市が新たに策定する「総合計画」と整合を図ります。
- ・ 第1期計画の成果や諸課題、市を取り巻く社会状況や行政需要の変化及び市民アンケート調査に基づく市民ニーズを踏まえながら作業を進めます。

#### (2) 策定体制



#### ① 教育委員会会議

⇒各作業の内容や進捗状況を確認するとともに、最終的な意思決定（議決）を行います。

#### ② 総合教育会議＊地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第1条の4）に基づき設置

⇒市と市教育委員会が教育政策の方向性を共有し、相互に一致した対応を図ります。

③ 審議会＊地方自治法（第138条の4第3項）に基づく附属機関「四街道市教育振興基本計画策定委員会」を設置

⇒市民、関係団体、外部有識者等で構成し、市教育委員会の諮問に応じて必要な調査・審議を行い、各分野の専門的な知見を集約します。

④ 市民参加

・「市民アンケート」

・「意見提出手続（パブリックコメント）」＊四街道市市民参加条例（第7条第1項）

⇒策定過程における透明性を確保し、幅広く市民意見・要望の把握に努めます。

⑤ 庁内組織

・「四街道市教育振興基本計画策定本部」を設置

⇒教育長を本部長とし、策定過程の精査、調整等を行います。

・「四街道市教育振興基本計画策定本部作業部会」を設置

⇒計画の素案を作成する上で必要な調査及び検討を行います。

## 4. スケジュール

第2期計画は、令和5年度中に策定するものとします。なお、個別の作業スケジュールについては、その実施段階において、適切な進捗管理の下、必要な調整を行うこととします。

### 【第2期計画策定スケジュール】

年月		教育委員会会議	総合教育会議	審議会	市民参加	庁内組織	
令和4年度	4月	進捗確認				策定方針作成	
	5月					計画骨子案作成	
	6月				アンケート調査		
	7月				諮問		集計
	8月						
	9月						
	10月			協議			
	11月						
	12月						
	1月						報告書作成
	2月			適宜開催	適宜開催		
	3月						
令和5年度	4月					計画案作成	
	5月						
	6月						
	7月		協議				
	8月			答申			
	9月						
	10月				パブリックコメント	計画原案作成	
	11月						
	12月						
	1月						計画書作成
	2月	議案審議					
	3月						

## 第2期四街道市教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方 (概要)

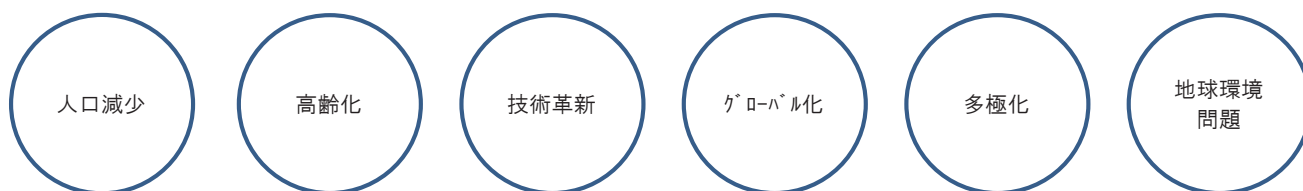
### ○教育基本法

#### (教育振興基本計画)

第十七条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

### 社会の変化（2040年以降の社会）



これまでの日本社会や制度の延長上では対応できない段階にまで至る想定  
変動性、不確実性、複雑性、曖昧性（先行き不透明）の時代

### 国の動向

○第4期教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）の策定に着手

望む未来を私たち自身で示し、作り上げていくことが求められる時代

#### <超スマート社会（Society5.0）>

一人一人の人間が中心となる社会  
労働市場の構造や職業そのものの抜本的な変化

#### <ウェルビーイング>

一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイング（Well-being）



- ・「変革を起こすコンピテンシー」、新たな価値を創造していく力
- ・幼児教育・義務教育の基礎の上に、高等学校、さらには大学、高等専門学校、専門学校、大学院までが、より一層の連続性・一貫性の中で有機的につながりを持つとともに、これらが産業界や国際社会も含めた幅広い社会のニーズに応えるものとなること
- ・絶えず変化する予測困難な社会における人材移動を支える社会人の学び直し（リカレント教育）
- ・全ての人がお互いを尊重し、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会をめざし、その実現に向けた社会的包摂を推進

## 第2期四街道市教育振興基本計画

### ○基本的な考え方

#### (1) 構成

四街道市の教育が目指す姿を「基本理念」及び「基本方針」にまとめ、その実現に向けた具体的な取組を「施策」に位置付ける。また、SDGs（持続可能な開発目標）の観点を取り入れた計画とする。

#### (2) 方向性

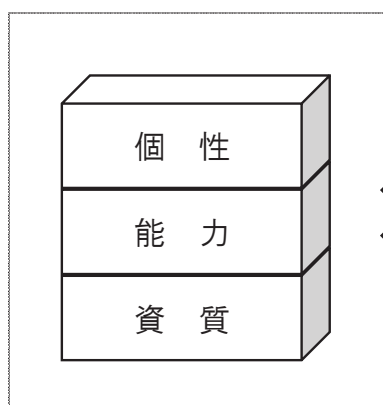
“予測困難なこれからの社会を幸せに生きるための学び”をテーマに、新たな教育課題に対応しながら、第1期計画の良さを受け継ぎ、更に発展させる。

#### (3) 視点

- ① 個を「伸ばす」「活かす」「認め合う」教育
- ② 生涯の各ステージに応じた様々な学びが、連続性・一貫性の中で有機的につながる教育
- ③ 学びを通じて一人一人が豊かな人生を送るとともに、その成果が社会に還元される教育

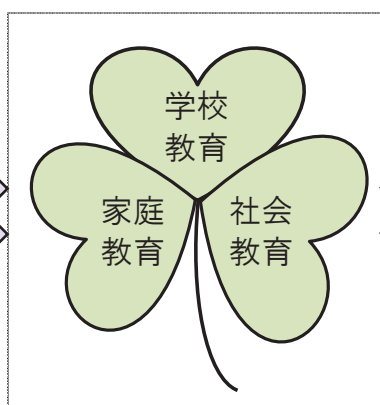
## 四街道市の教育が目指す“学び”（イメージ案）

新たな時代を開拓し  
力強く生きるための学び



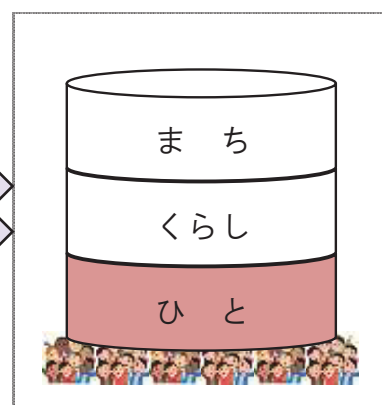
令和の日本型学校教育の実現に向けた取組を推進。  
全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実施。

生涯を通じて成長し  
自分らしく生きるための学び



生涯を通じたあらゆる教育段階における学びを充実。  
誰もが、いつでも、自分らしく学び成長することができる学習環境を整備。

四街道の未来を創造し  
地域と共に生きるための学び



四街道のまちづくりや暮らしづくりを支える地域人材を育成。  
互いを尊重し合う、多様性あふれる地域共生社会の実現に向けた取組を推進。

「全てはこの街と市民一人ひとりの幸せのために！」



令和4年7月25日

四街道市生涯学習推進計画（第3次）の進捗状況調査報告書（令和3年度実績）

標記の件につきまして、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 調査内容 本計画における令和3年度の実績
2. 調査対象 各課が所管する事業から全90項目を対象（カッコ内は課毎の項目数）  
 （危機管理室（2）、政策推進課（10）、自治振興課（6）、  
 社会福祉課（11）、高齢者支援課（2）、障害者支援課（5）、  
 健康増進課（3）、子育て支援課（2）、保育課（4）、  
 環境政策課（1）、廃棄物対策課（1）、産業振興課（5）、  
 都市計画課（1）、教育総務課（1）、社会教育課（26）、  
 スポーツ青少年課（7）、図書館（3）

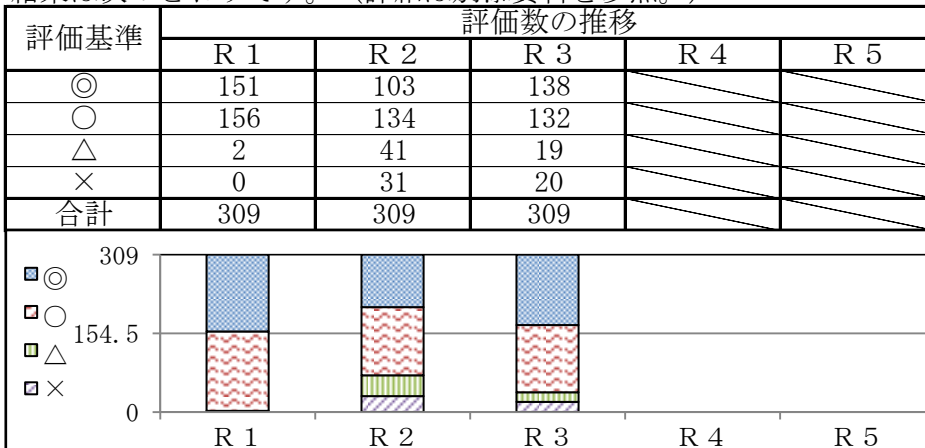
これらの事業毎に「生涯学習推進のための視点」（下記の5項目）から該当する視点について評価を行いました。

生涯学習推進のための視点	
①	現役世代の生涯学習に対する配慮
②	高齢者の力を活かす
③	持続可能な学習形態の推進
④	障害者の多様な学習活動の推進
⑤	家庭教育支援体制の充実

3. 調査方法 各事業の所管課の自己評価による。

評価基準	
◎	十分に取り組むことができた（9割以上）
○	概ね取り組むことができた（6～8割程度）
△	あまり取り組むことができなかった。（5割以下）
×	殆ど取り組むことができなかった

4. 調査結果 結果は次のとおりです。（詳細は別添資料を参照。）



また、進捗率（◎=100%、○=70%、△=30%、×=0%を係数として、評価数に乘算して算出）は次のとおりです。

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
進捗率%	84.4	67.7	76.4		

5. 総合評価 前年と比較し、◎は35の増、○は2の減、△は22の減、×は11の減となり、進捗率は、8.7ポイントの増となりました。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、事業の縮小や中止が徐々に改善されてきている影響があったものと考えられます。

## 四街道市生涯学習推進計画(第3次)事業別当初予算額・決算額について

課コード	担当課	事業名	R3当初予算	R3決算	R4当初予算
0010	危機管理室	地域災害対策事業	31,811,000	24,835,604	53,577,000
0101	政策推進課	国際交流事業	1,216,000	0	0
0101	政策推進課	男女共同参画推進事業	513,000	495,296	317,000
0101	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	10,354,000	10,151,857	10,246,000
0101	政策推進課	コラボ四街道事業	4,677,000	2,831,000	3,408,000
0202	自治振興課	コミュニティ施設維持管理事業	19,275,000	19,635,595	19,459,000
0202	自治振興課	ふるさとまつり事業	8,441,000	975,700	8,700,000
0202	自治振興課	防犯対策事業	29,801,000	28,351,329	30,922,000
0202	自治振興課	交通安全対策事業	1,480,000	1,369,495	1,450,000
0301	社会福祉課	人権擁護事業	574,000	554,255	572,000
0301	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	88,402,000	86,722,302	88,514,000
0301	社会福祉課	総合福祉センター管理運営事業	26,061,000	26,231,650	27,229,000
0301	社会福祉課	南部総合福祉センター管理運営事業	41,948,000	42,239,090	42,953,000
0301	社会福祉課	シニアクラブ支援事業	4,224,000	3,722,710	3,993,000
0301	社会福祉課	シルバー人材センター支援事業	13,200,000	13,200,000	13,555,000
0301	社会福祉課	シニア憩いの里運営支援事業	1,080,000	720,000	720,000
0303	高齢者支援課	高齢者在宅生活支援事業	36,361,000	33,986,834	29,644,000
0303	高齢者支援課	一般介護予防事業	1,911,000	1,798,424	1,962,000
0304	障害者支援課	障害者自立支援給付事業	2,098,956,000	2,281,319,083	2,546,384,000
0304	障害者支援課	地域生活支援事業	65,796,000	72,951,509	92,302,000
0304	障害者支援課	在宅生活支援事業	14,421,000	10,705,506	15,547,000
0304	障害者支援課	障害福祉推進事業	73,842,000	74,864,411	77,141,000
0304	障害者支援課	意思疎通支援事業	6,470,000	5,611,231	6,062,000
0401	子育て支援課	児童センター運営委託事業	26,788,000	26,963,621	26,920,000
0402	保育課	中央保育所保育運営事業	17,102,000	13,573,342	18,815,000
0402	保育課	千代田保育所保育運営事業	15,108,000	12,935,960	19,659,000
0402	保育課	子育て相談支援事業(内部管理事業)	1,483,000	1,359,816	1,487,000
0402	保育課	こどもルーム運営事業	291,721,000	272,925,382	328,726,000
0403	健康増進課	健康よつかいどう21プラン推進事業	424,000	353,013	4,607,000
0403	健康増進課	成人保健事業	672,000	628,716	417,000
0403	健康増進課	母子保健事業	88,510,000	82,256,183	91,133,000
0501	環境政策課	環境保全対策事業	5,932,000	5,708,000	7,140,000
0502	廃棄物対策課	ごみ減量化・リサイクル推進事業	70,894,000	60,907,437	54,610,000
0503	産業振興課	農産物生産等支援育成事業	9,883,000	7,918,456	11,087,000
0503	産業振興課	消費者教育推進事業	1,187,000	496,456	1,187,000
0503	産業振興課	森林ボランティア養成事業	573,000	302,709	143,000
0503	産業振興課	産業まつり実施事業	4,131,000	0	4,695,000
0601	都市計画課	都市公園・緑地維持管理事業	234,930,000	202,696,405	208,614,000
1301	教育総務課	教育委員会事務局運営事業	47,460,000	46,738,509	57,860,000
1304	社会教育課	学校支援活動事業	2,254,000	2,181,712	2,261,000
1304	社会教育課	人権教育事業	34,000	0	34,000
1304	社会教育課	子育て学習事業	100,000	0	100,000
1304	社会教育課	放課後子ども教室推進事業	1,578,000	1,035,684	1,569,000
1304	社会教育課	市民文化祭事業	3,914,000	2,528,320	3,914,000
1304	社会教育課	市民芸術公演事業	1,400,000	1,048,560	1,404,000
1304	社会教育課	芸術文化活動支援事業	3,855,000	1,348,240	3,925,000
1304	社会教育課	公民館管理運営事業	89,689,000	89,170,497	106,409,000
1304	社会教育課	文化財保護管理事業	2,481,000	2,293,381	2,718,000
1304	社会教育課	歴史民俗資料施設整備事業	1,617,000	1,814,658	1,636,000
1304	社会教育課	市史編さん事業	5,250,000	4,506,639	3,553,000
1304	社会教育課	生涯学習推進事業	195,000	94,266	196,000
1304	社会教育課	市民大学講座事業	876,000	486,532	758,000
1305	スポーツ青少年課	青少年体験活動事業	160,000	0	160,000
1305	スポーツ青少年課	青少年育成活動支援事業	304,000	195,845	273,000
1305	スポーツ青少年課	小中学校施設開放事業	2,406,000	1,792,729	2,082,000
1305	スポーツ青少年課	スポーツ普及促進事業	2,920,000	957,387	2,285,000
1305	スポーツ青少年課	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	3,295,000	0	3,318,000
1305	スポーツ青少年課	ガス灯ロードレース大会事業	4,500,000	0	3,500,000
1305	スポーツ青少年課	体育施設管理運営事業	142,571,000	147,347,621	139,868,000
1307	図書館	図書館管理運営事業	8,812,000	9,520,155	8,699,000
1307	図書館	資料管理整備事業	85,572,000	85,232,789	96,221,000
1307	図書館	読書学習推進事業	697,000	667,740	647,000

四街道市生涯学習推進計画(第3次)令和3年度実施状況について

【基本方針と主要施策】	
1. 学びの基礎づくり	3. 学びが広がる地域づくり
1-1 家庭教育・子育て支援	3-1 地域教育力の向上
1-2 健康づくり	3-2 市民参画・協働の推進
2. 学びのきっかけづくり	3-3 人材育成・活用の推進
2-1 学習情報の発信	3-4 啓発活動の推進
2-2 学習ニーズへの対応	4. 学びを支えるまちづくり
2-3 ICT活用能力の育成	4-1 互いを高め合うコミュニティ活動の推進
2-4 相談体制の充実	4-2 生涯学習関連施設の確保・整備

【生涯学習推進のための視点】
① 現役世代の生涯学習に対する配慮
② 高齢者の力を活かす
③ 持続可能な学習形態の推進
④ 障害者の多様な学習活動の推進
⑤ 家庭教育支援体制の充実

【実施評価】
◎: 十分に取組むことができた(9割以上) or 代替案等により実施した場合と同程度の効果が得られた
○: 概ね取組むことができた(6~8割程度) or 代替案等により実施した場合と概ね同程度の効果が得られた
△: あまり取組むことができなかった(5割以下) or 会議や審議会等で協議したが、結果として事業を中止した
×: 殆ど取組むことができなかった or 当初より中止が決定していたもしくは協議等なく中止を決定した

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針		
1	1	1	保育課	中央保育所保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	子育て支援センターは土曜日も開所しているほか、来所が困難な方のために公園や公民館において出前事業を実施しているが、3年度はコロナの影響で年間71日の閉所があり、実施日も人数を制限した。また、講師を招いて開催する子育て講座のうち、幼児安全法講習会は例年土曜日に実施しているが、2回予定していたところ1回の実施となった。 実績: 出前事業8回(参加者246名) 幼児安全法講習会1回(参加者4名)	継続	3年度は新型コロナウイルスの影響で施設の閉所や事業の中止があった。次年度も影響が予測されるが、十分な感染予防対策を講じたうえで、引き続き子育て支援センター事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援していく。		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○					
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○					
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				○	子育て支援センターでは、通常の開所日に加え、イベントや子育て講座の実施日にも乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供しているが、3年度はコロナの影響で年間71日の閉所があり、実施日も人数を制限した。 実績: 222日開所 利用者総数2,334組5,016名
							⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。				○	子育て支援センターでは、通常の開所日に加え、子育て講座の実施日にも子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業を行っているが、3年度はコロナの影響で年間71日の閉所があり、実施日も人数を制限した。 実績: 222日開所 利用者総数2,334組5,016名
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○					
2	1	1	保育課	千代田保育所保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	子育てひろばは毎週火曜日に実施しているほか、地域の子育て家庭へのPRもかねて、年2回、近隣の公園で出前子育てひろばを実施している。また、保育所の見学者にも子育て支援事業の情報提供を行った。 実績: 子育てひろば年35回 利用者数221名	継続	3年度は、コロナの影響でやむをえず施設の閉所や事業の休止があった。次年度も影響が予測されるが、引き続き地域の感染拡大の状況を注視し、十分な感染予防対策を講じたうえで市民の生涯学習活動を支援していく。		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○					
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○					
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				○	子育てひろばでは、同じ地域の子どもを育てる保護者同士が、交流をもつ場として提供している。しかし、コロナの影響で施設の閉所および感染症拡大防止のため、8・9月また2・3月に全17回の休止があった。 実績: 子育てひろば年35回 利用者数221名
							⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。				○	子育てひろばでは、利用者に子育ての悩みがある場合、利用者同士または保育士との関わりの中で、相談することができる場として提供した。 実績: 子育てひろば年35回 利用者数221名
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○					
3	1	1	健康増進課	母子保健事業	妊娠中から夫婦で子育てに関する知識や技術を習得できる場を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎	妊婦とそのパートナーが、妊娠中の健康、子どもを迎える準備と夫婦共同での子育てについて学べる教室を開催した。 実績: パパママルーム 実施回数18回 延参加人数277名	継続	次年度も引き続き妊娠中から夫婦で子育てに関する知識や技術を習得できる場を提供し、支援していく。		
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎					

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
4	1	1	産業振興課	農産物生産等支援育成事業	親子で食物について考える機会を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○	市民親子農業収穫体験講座を実施し、親子で食物についてともに学ぶ機会を提供できた。 実績：講座回数5回 延参加者組・人数78組177名 ※全7回のうち、2回は緊急事態宣言のため中止	継続	次年度も引き続き市民親子農業収穫体験講座を実施し、親子で食物についてともに学ぶ機会を提供・支援する。
5	1	1	社会教育課	子育て学習事業	家庭・学校・地域の連携で、家庭教育を推進します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	就学時健康診断時及び中学校入学説明会時に、家庭教育の重要性に関する子育て学習講座を開催できた。 実績：市内小中学校16校(うち7校は書面開催)	継続	次年度も引き続き、子育て学習講座及び地域・家庭教育学級を実施し、家庭教育を支援していく。
						b 参加対象者に広く周知できた。	○				
						a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	子育て学習講座の講師として現職の校長先生や教育現場を経験されていた方々に依頼をし、実体験を交えた講座が開催できた。			
						c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	◎				
						②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	地域・家庭教育学級では、PTA等に対し周知を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため団体の活動自粛等があり利用希望者はいなかった。	継続	次年度も引き続き、子育て学習講座及び地域・家庭教育学級を実施し、家庭教育を支援していく。
						c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	◎				
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	就学時健康診断時及び中学校入学説明会時に、家庭教育の重要性に関する子育て学習講座を開催できた。 実績：市内小中学校 16校(うち7校は書面開催)	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた事業運営を行う。
						⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎			
6	1	1	図書館	読書学習推進事業	子どもたちが読書に親しむ機会を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎	乳幼児期から本に親しむため、読み聞かせ等の実践、年代別資料案内しおり、展示活動、講座開催により、多様な資料を紹介し、本と出会う機会の増進に努めた。 実績：児童対象事業数4件(延参加者数717名) 一般対象事業数1件(延参加者数7名)	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた事業運営を行う。
						b 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。	○				
						c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎				
7	1	2	高齢者支援課	一般介護予防事業	介護予防を目的とした講習会を開催します。	③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、介護予防に関する各種講座や講習会、教室は開催を見合わせた事業もあったが、パンフレットの配布による普及啓発、地域の自主活動の場での健康教育を実施した。 実績：長寿大学 1回 47名、介護予防の週いち貯筋実施会場での健康教育 7会場 延参加者数88名、出前講座 1回 6名	継続	次年度も引き続き感染症拡大防止に配慮しながら、介護予防の普及啓発を実施する。
8	1	2	健康増進課	健康よつかいどう21プラン推進事業	健康よつかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	第2次健康よつかいどう21プランに基づく運動教室等各種事業は、オンラインでの実施も含め、感染対策を行いながら実施した。プラン推進のための啓発として、市政だよりやホームページで健康情報の提供をした。県の健康ポイント事業と連携し、市のインセンティブ事業の充実を図った。	継続	感染症対策に留意しながら、第2次健康よつかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施していく。
						a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○				
						c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、よい歯のコンクールは標語のみの実施となった。親子で参加する教室は、5月開催については一部内容を中止した。8月開催についてはオンラインで実施し、家庭で健康づくりに取り組むきっかけとすることができた。			
9	1	2	健康増進課	成人保健事業	健康よつかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	市民の健康保持増進と疾病予防のため、糖尿病予防教室は定員を半分にして距離の確保、体調管理、換気等感染対策を徹底しながら実施した。健診結果相談や集団検診(健診)の他、2年度に引き続き母子保健事業で健康教育の実施を行い、若い親世代への周知に努めた。	継続	感染症対策に留意しながら、市民の健康保持増進と疾病予防のため、各種健康教育・健康相談事業等を実施していく。
						b 参加対象者に広く周知できた。	◎				
						c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○				
						⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○	糖尿病予防教室や各種健康教育・健康相談事業に子育て世代の人が参加することで、本人だけではなく家族への波及効果がある様、内容を工夫している。	継続	感染症対策に留意しながら、市民の健康保持増進と疾病予防のため、各種健康教育・健康相談事業等を実施していく。
						c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○				



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針														
10	1	2	社会教育課	公民館管理運営事業	健康づくりに関する学習の機会を提供します。				65歳以上の高齢者を対象とした講座を新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し開催できた。 実績：長寿大学7回 294名、福寿大学8回 266名、あさひ寿大学7回 169名	継続	次年度も引き続きライフステージの各時期における健康に関する学習の機会を提供していく。														
												②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎											
												③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎											
													b 学習成果を地域に還元できた。	◎											
												⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎											
													c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎											
												11	2	1	政策推進課	国際交流事業	国際交流協会の活動を市政だよりや市ホームページで取り上げ、広く周知します。			学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	継続	次年度も引き続き、市政だよりや市ホームページにおいて、掲載することで市民に広く周知する。			
																							①	b 参加対象者に広く周知できた。	○
																								c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○
																								( )	
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○																							
	学習成果を地域に還元できた。																								
	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○																							
12	2	1	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	みんなで地域づくりセンター情報誌を発行します。			みんなで地域づくりセンターで年4回発行している情報誌「みんなで」において、市民団体が実施している生涯学習活動につながる取組みとみんなで地域づくりセンターで行っている講座を紹介した。	継続	次年度も引き続き情報誌を発行し、より多くの市民に生涯学習活動につながる取組みや、みんなで地域づくりセンターで実施している講座等を知らせていく。															
											①												d (読者である市民に、地域づくりに関する知識等を広めた)	○	
																							③	b 学習成果を地域に還元できた。	○
											c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○													
											( )														
											13	2	1	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会の情報紙の発行を支援します。			参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	継続	次年度も引き続き社会福祉協議会の運営を支援することにより地域福祉の推進を行う。				
																						②			
																						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針						
14	2	1	社会教育課	公民館管理運営事業	公民館だよりを発行します。		②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動や主催講座を提供できた。	継続	次年度も引き続き公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動や主催講座の情報提供に努めていく。					
								b	趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。								
									学んだ成果を発表できる場を提供できた。								
								( )									
							③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。				公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動や主催講座を提供できた。				
									学習成果を地域に還元できた。								
									地域に学習成果を活かす動機づけができた。								
								( )									
							⑤	a	家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。					公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動や主催講座を提供できた。			
15	2	1	社会教育課	生涯学習推進事業	・ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した生涯学習情報の提供をします。 ・生涯学習を推進するために、ガイドブックを発行します。		①	a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	市が行う各種事業や生涯学習関連施設・団体等の情報を載せた「まなびいガイドブック」を作成し、ホームページに掲載できた。	継続	次年度も引き続き生涯学習に関するガイドブックを作成、ホームページ上で掲載し、生涯学習情報を提供していく。					
								b	参加対象者に広く周知できた。								
							②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。						まなびいガイドブックの中に高齢者の技能等を生かす事業やサークル等の内容を掲載しており、高齢者に対し情報提供できた。		
								b	趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。								
								c	学んだ成果を発表できる場を提供できた。								
							③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。				まなびいガイドブックの中に生涯学習関連施設等の内容を掲載しており、学習・交流の場の情報提供ができた。				
							④	b	関係部署と連携し、参加者を募った。					まなびいガイドブックの中に障害者も参加できるイベント等の情報を掲載できた。			
							⑤									まなびいガイドブックに子育て支援センターによる相談の受付情報等を掲載できた。	
								c	保護者等が安心して育児が行える支援ができた。								
16	2	2	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域の課題を解決するための講座を実施します。		①	b	参加対象者に広く周知できた。	みんなで地域づくりセンターにおいて、地域課題を解決するための講座等を実施した。 講座については、アンケートを実施し、参加者からの意見を伺った。 実績：講座等実施回数18回	継続	次年度も引き続きみんなで地域づくりセンターで講座を実施し、市民の学習の場を設ける。					
								c	学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。								
							③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。						講座等を通し、受講者同士の交流の場が広がり、新たな人脈の醸成へとつなげた。		
								c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。								

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
17	2	2	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携してボランティア活動者を増やすための講座やイベントを実施します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。 実績：ボランティア活動の支援 ボランティア登録80団体(1,620名)、個人(464名) ボランティア育成講座を実施。※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	継続	次年度も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。	
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○
18	2	2	社会教育課	公民館管理運営事業	市民が求めるニーズに沿った講座を実施します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	65歳以上の高齢者を対象とした講座を新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し開催できた。 実績：長寿大学7回 294名、福寿大学8回 266名、あさひ寿大学7回 169名	継続	次年度も引き続き主催講座の開設や公民館運営委員会の開催していく。	
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	◎				
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎			公民館運営委員会を開催し、市民による主体的な公民館活動を促進するとともに、参加者同士の交流の場もできた。
								b 学習成果を地域に還元できた。	◎			
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎			
⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎	育児等の学習を提供する機会として親子を対象とした講座を講座を新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し開催できた。 実績：2・3歳児ひよこ教室7回 27組、親子リトミック教室7回 86組、楽器を使って音楽と絵本で楽しく遊ぼう6回 43組、親子工作教室1回 20組、クラシックコンサート1回 68名)									
	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎										
19	2	2	社会教育課	文化財保護管理事業	文化財の調査・保護を行い、活用を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	「よもやま話」については、ホームページを活用し、利便性の高い学習機会を提供した。 実績：ホームページに1回掲載	継続	次年度は新型コロナウイルスの状況を注視しながら、例年の事業を行えるよう努めていく。	
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				×
							③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○			「よもやま話」のホームページへの掲載、博物館等への資料貸出等の文化財活用をすすめることにより、学習者の意欲に応じて情報収集ができるよう努めた。
20	2	2	社会教育課	市史編さん事業	資料調査及び収集整理や古文書の整理保存を行い、活用を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	過去に発刊した四街道市史等について、購入や内容に対してメールでの問い合わせに応じた。	継続	次年度も引き続き市史編さん事業の史料収集および調査・整理を行っていく。	
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針											
21	2	2	社会教育課	生涯学習推進事業	<p>・市政について知識を深めるための生涯学習まちづくり出前講座を実施します。</p> <p>・学びたい市民と教える市民をつなぐための生きがいつくりアシスト事業を実施します。</p>		①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。◎ b 参加対象者に広く周知できた。◎	<p>生涯学習まちづくり出前講座については、担当課との調整により祝日・年末年始を除いた全ての日程で開催可能、生きがいつくりアシスト事業についても、講師との調整により日程を選べるようになっている。また、どちらも市政日より、ホームページ及びまなびいガイドブックにて広く周知を行った。</p>	継続	<p>次年度も引き続き生涯学習まちづくり出前講座及び生きがいつくりアシスト事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援していく。</p>											
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。◎ b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。◎ c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。				<p>生きがいつくりアシスト事業においては、専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらっており、高齢者の活躍の場を提供できた。 実績：登録講師33人</p>										
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。◎ c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。◎					<p>生きがいつくりアシスト事業においては、事業の紹介を目的に複数の講師の協力のもと「一日体験講座」を実施した。市民と講師だけでなく、同じ内容に興味を持った受講生同士の交流にもつながった。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加人数を制限して実施した。 実績：講座数7講座 参加者56名</p>									
							④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。○						<p>生涯学習まちづくり出前講座及び生きがいつくりアシスト事業ともに制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、3年度は特筆すべき利用希望者はいなかった。</p>								
							⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。○							<p>生涯学習まちづくり出前講座においては、担当課による子育てに関する講座や学校生活に関する講座を開催可能とした。</p>							
							①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。○ b 参加対象者に広く周知できた。○								<p>一般課程・専門課程ともに内容を精査することで、現役世代も参加しやすいようにした。 また、ホームページ、公共施設でのチラシの設置等広く周知を行った。 実績：一般課程10講座（新型コロナウイルス感染症の影響により3講座休講・2講座は講師都合により中止） 専門課程8講座</p>	継続	<p>次年度も引き続き実施し、多様な学習情報を提供するとともに、生涯学習の成果を活用し、まちづくりに貢献できる人材の育成を図ります。</p>				
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。◎ b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。◎											<p>一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。</p>			
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。◎ c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。◎												<p>市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。</p>		
							④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。◎													<p>一般課程・専門課程ともに制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき利用希望者はいなかった。なお、会場にはエレベーターのある場所を選んでおり、車いす等の受講者へ対応できるようにしている。</p>	
							⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。◎														<p>一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。</p>



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針											
23	2	2	スポーツ青少年課	小中学校施設開放事業	小中学校施設の一部を開放し、文化・スポーツ活動の活性化を図ります。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	◎	コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、身近な活動場所として市内小学校の校庭及び市内小中学校の体育館や特別教室を開放し、市ホームページや市政だよりを通じて周知を行うことで、市民が気軽に文化・スポーツに親しめる環境を整えた。	継続	次年度も引き続き感染症対策を講じた上で、小中学校施設の開放を行い、生涯学習環境の整備と文化・スポーツ活動の活性化を図る。											
							②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎			コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、書道、ピアノレッスン、パウンドテニス、グラウンドゴルフなどの趣味・教養活動の場を提供できた。										
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎			コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、社会教育活動や文化活動の場、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供できた。 実績：特別教室 和良比小8団体812名利用 四街道中4団体719名利用 小学校校庭42団体25,832人利用 小中学校体育館208団体73,317人利用										
							①	b 参加対象者に広く周知できた。	○			各種スポーツ教室の開催にあたっては、市ホームページや市政だよりを通じて周知を行った。										
							③	b 学習成果を地域に還元できた。	○			コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、成人を対象にスポーツ活動への参加の促進、健康づくりや仲間づくりの場の提供を行った。										
							25	2	3			社会教育課	公民館管理運営事業	高等教育機関と連携し、高度な知識・技術の習得を目的とする講座を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	公民館主催講座で平日だけでなく土日開催の講座も企画することで、現役世代も参加しやすいよう配慮できた。	継続	次年度も引き続き情報活用能力の向上を図るための講座を実施していく。		
																b 参加対象者に広く周知できた。	◎					
																②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				◎	高齢者に向けた講座を実施できた。 実績：シニアのためのパソコン教室1回 合計20名
																③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎	多様な講座を実施し、学習者同士の交流を促すことができた。
b 学習成果を地域に還元できた。	◎																					
c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎																					
④	a ライフステージに合わせた学習を提供できた。	◎	障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき受講者はいなかった。																			
⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎	パソコンを利用した表計算ソフトの操作を学ぶことにより、日常生活にも役立つような講座を企画した。 実績：シニアのためのパソコン教室1回 合計20名																			

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針					
26	2	3	社会教育課	市民大学講座事業	高等教育機関と連携し、高度な知識・技術の習得を目的とする講座を実施します。				アンケートを実施し、参加者の意見を聞くことができた。	継続	次年度も引き続き実施し、多様な学習情報を提供するとともに、生涯学習の成果を活用し、まちづくりに貢献できる人材の育成を図ります。					
												①	c	学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎	
												②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。
													b	趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	
												③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。
													c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎	
												④	b	関係部署と連携し、参加者を募った。	◎	一般課程・専門課程ともに制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき利用希望者はいなかった。なお、会場にはエレベーターのある場所を選んでおり、車いす等の受講者へ対応できるようにしている。
												⑤		家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。		一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。
														家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。		
c	保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎														
		( )														
27	2	4	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域づくりに関する学習についての相談に対応します。				みんなで地域づくりセンターにおいて、地域づくりに関する市民からの相談を休館日を除いて受け付けた。実績：相談件数71件	継続	次年度も引き続きみんなで地域づくりセンターにおいて市民活動等を行う市民からの相談を受け付ける。					
												①	a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	
												③	b	学習成果を地域に還元できた。	◎	みんなで地域づくりセンターにおいて、地域づくりに関する市民からの相談を随時受け付けた。実績：相談件数41件
													c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎	
28	2	4	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携してボランティア活動に関する相談日を設け対応します。				ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設)ボランティア相談日「ボランティアやったるDAY！」の実施年4回	継続	今後も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。					
												②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	
												③	b	学習成果を地域に還元できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設)ボランティア相談日「ボランティアやったるDAY！」の実施年4回
29	2	4	保育課	子育て相談支援事業(内部管理事業)	子育てコンシェルジュが子育てに関する相談に対応します。				子育てに関する相談を受けた際、子育てに関する知識を得る講座の受講等を希望する者に対して、子育て情報誌「すくすく」を配布した。	継続	次年度も引き続き保育を必要とする市民からの相談において、それぞれにとって適切なサービスの紹介等を行い、安心して育児が行われるよう、支援を継続する。					
												①				
												⑤				子育てコンシェルジュを配置することにより、保育を必要とする市民へ利用可能なサービスを説明・紹介することができ、安心して育児が行える支援ができた。 実績：配置日数229日 延相談件数4,739件
													c	保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針			
30	3	1	危機管理室	地域災害対策事業	市防災訓練や区・自治会主催の防災訓練のほか、出前講座や母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布する等、市民防災への意識の高揚を図ります。	③	b	学習成果を地域に還元できた。	○	出前講座等により、市民の防災への意識の向上に努めた。母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布することで、子育て家庭に対する災害時の備え等の周知に努めた。	継続	次年度も引き続き防災訓練や出前講座等を実施し、市民の防災意識の向上に努める。		
							c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○					
31	3	1	政策推進課	男女共同参画推進事業	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援します。	①	a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援した。3年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、男性のための応接料理教室として、簡単にできる調理レシピをHPと市政だよりに掲載する形で2回実施 1 みんな応援簡単レシピ「おとう飯」はじめよう！ 第1回 R3.6.10実施 市政だよりに掲載R3.7.15 市ホームページに掲載R3.8.15 PV数333回(R3.6-R4.3) 2 みんな応援簡単レシピ「おとう飯」はじめよう！ 第2回 R3.10.7実施 市政だよりに掲載R4.1.1 市ホームページに掲載R3.10.12 PV数384回(R3.10-R4.3)	継続	次年度も引き続き男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援する。		
							b	参加対象者に広く周知できた。	◎					
							c	学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×					
32	3	1	政策推進課	国際交流事業	姉妹都市リバモア市との中学生を対象とした交換留学を実施します。	①	a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束するまでは、参加者の安全を確保するため、事業を実施しない予定だが、市政だよりや市ホームページにおいて過去の事業の様子を掲載することで市民に事業を広く周知する。		
							b	参加対象者に広く周知できた。	×					
							c	学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×					
							③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。				×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。
								b	参加対象者に広く周知できた。				×	
								c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。				×	
33	3	1	自治振興課	防犯対策事業	防犯講習会を開催し、防犯意識の高揚を図ります。	③	c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	△	市、防犯協会、警察等の関係団体と協力し、市民の防犯意識の高揚と知識の普及・啓発を目的に、防犯講習会の開催に向け準備を行った。 実績：防犯講習会実施回数0回 実施団体数0団体 参加人数0人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実績なし	継続	次年度も引き続き防犯講習会を開催し、防犯意識の高揚を図り、安心で安全なまちづくりの推進に努める。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、講習会の開催等について判断していく必要がある。		
34	3	1	自治振興課	交通安全対策事業	幅広い世代に向けた交通安全教育の推進を図ります。	③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	幼児や高校生、高齢者に対する交通安全教室を実施することで、交通安全教育の推進が図られた。 実績：交通安全教室実施回数81回 実施団体数44団体 参加人数5,438名	継続	次年度も引き続き幅広い世代に向けた交通安全教育の推進を図り、安心で安全なまちづくりの推進に努める。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、交通安全教室の実施等について判断していく必要がある。		
							b	学習成果を地域に還元できた。	◎					
							c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎					
35	3	1	子育て支援課	児童センター運営委託事業	地域で活動するボランティア団体・市民活動団体等の協力を得て、児童センターの運営に取り組みます。	⑤	b	家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。	○	四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行った。 なお、事業については、ボランティアの協力のもと実施している。	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組み、市民が児童センターに携われる機会を設けていく。		
36	3	1	産業振興課	消費者教育推進事業	消費生活に関する意識の高揚を図るため、講座を実施します。	①	b	参加対象者に広く周知できた。	△	市内にある協力事業者と協議の結果、子どもたちの消費者としての勉強の場である「子ども消費者教室」は中止となった。	継続	次年度も引き続き、協力事業者と相談しながら実施について検討していく。		
							③	b	学習成果を地域に還元できた。				△	市内にある協力事業者と協議の結果、子ども消費者教室など、消費者としての正しい知識を習得してもらえる場は中止となった。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針		
37	3	1	社会教育課	学校支援活動事業	コーディネーターを配置し、地域人材を活用した学校支援に取り組みます。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	学校教育の活動参加者に、活動後、意見等を聞く機会を設けることができた。	継続	次年度も引き続きどの学校においても地域住民がボランティア活動への積極的な参加が図れるよう、各学校を支援していく。		
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎					
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎			学校の求めに応じ、各小中学校に配置した地域コーディネーターが中心となって、学習支援、環境整備、交通安全等のボランティア等を募集し、学校の支援を行った。このことで学校教育活動の充実が図られるとともに、学校・家庭・地域の連携強化につながった。	
								b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎				
								③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。			○	地域コーディネーター同士の意見交換、実践状況を共有する場を設けることができた。実績：2回開催（うち1回は書面開催） また、活動参加者に意見を聞く機会を設けることができた（随時）。
									b 学習成果を地域に還元できた。			◎	
38	3	1	社会教育課	人権教育事業	市民団体の協力を得て、人権に関する講座を実施します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	△	市民団体「みんなで人権を考える会」と関係部署との協議の結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「人権講演会」は中止となった。	継続	次年度も引き続き人権に関する講座を実施していく。		
							③	b 学習成果を地域に還元できた。	○			毎月行っている、市民団体主催の定例会に参加し、人権に関する課題を掘り下げて学習できるよう、市民の企画力を引き出し、人権教育学習に取り組んだ。	
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○				
							④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	△			市民団体「みんなで人権を考える会」と関係部署との協議の結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「人権講演会」は中止となった。	
39	3	1	社会教育課	放課後子ども教室推進事業	コーディネーターを配置し、地域人材を活用した放課後の子どもたちの居場所づくりに取り組みます。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	放課後子ども教室を委託開催し、放課後に保護者が安心して子どもを過ごさせることができる居場所を提供できた。また、主任児童委員を各団体にコーディネーターとして配置することによって、子どもの安心安全な居場所づくりを支援できた。 実績：委託数2団体（コーディネーター各団体1名配置）	継続	新型コロナウイルス感染予防を徹底し、2団体が活動を行った。1団体は年間活動を中止した。次年度も引き続き子どもたちの安全・安心な居場所を提供していく。		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○					
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎			各団体には元教師等が参加しており、自身の経験や技能等を生かした活動を実施できた。	
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎			年1回各団体の代表者等と市の職員で情報交換会を開催しており、団体間の情報共有の場になった。また、千葉県等で実施している研修に参加してもらうことで、学習内容を活動に反映してもらうことができた。	
								b 学習成果を地域に還元できた。	◎				
							⑤	b 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。	◎			千葉県等で実施している研修には家庭教育に関するものも含まれており、学習内容を活動に反映してもらうことができた。また、放課後に子どもが安心して過ごせる場を提供していることにより、結果として育児中の世代の支援にもつながることができた。	
								c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎				

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
40	3	1	社会教育課	公民館管理運営事業	高齢社会に対応した講座を実施します。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	65歳以上の高齢者を対象とした講座を新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し開催できた。 実績：長寿大学7回 294名、福寿大学8回 266名、あさひ寿大学7回 169名	継続	次年度も引き続き高齢社会に対応した講座を実施していく。	
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎				多様な講座を実施し、学習者同士の交流を促すことができた。
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎				
							a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎				
41	3	1	スポーツ青少年課	青少年の健全育成を推進するため、市民団体等の協力を得て、体験活動を実施します。	⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	△	通学合宿(日帰り)を4回実施する予定であったが、コロナ禍における実施が困難なため、実施を見送った。	継続	次年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施可能な方法を模索しながら、引き続き教室では体験できないことを学び、子どもたちの社会性、自主性、協調性を伸ばし生きる力を育てていく。		
42	3	2	政策推進課	国際交流事業	国際交流協会と協力し、短期留学事業の継続を図ります。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束するまでは、参加者の安全を確保するため、事業を実施しない予定だが、市政だよりや市ホームページにおいて過去の事業の様子を掲載することで市民に事業を広く周知する。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×				
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	×				新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×				
43	3	2	政策推進課	コラボ四街道事業	市民団体が提案した地域の魅力を創出する事業を支援します。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○	コラボ四街道において、当年度高齢者を主な対象とする事業はなかったが、各事業の参加者には高齢者も多数参加し、異世代間の交流も含め一定の成果を残した。 実績：事業7件中0件対象	継続	次年度も引き続き様々な立場の市民が提案・実施する地域づくり活動に対し、補助金の交付をはじめとした支援を行う。	
												コラボ四街道において、子どもを主な対象にした事業の支援を行った。 実績：事業7件中4件対象
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎				
44	3	2	社会福祉課	シニアクラブ支援事業	クラブ活動を支援し、高齢者の生きがいづくりや健康増進を図ります。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	高齢者向けスポーツ大会や芸能大会の企画・開催や、高齢者福祉の増進を図っているシニアクラブ連合会及び単位シニアクラブに対し事業費の一部を補助することにより、地域の高齢者に対し社会参加・交流をする機会を提供できた。また、活動方針等については、必要に応じて指導を行った。	継続	今後も引き続き高齢者福祉の増進のため必要な支援を行っていく。	
45	3	2	社会福祉課	シルバー人材センター支援事業	高齢者の就労機会を提供するため、センターの運営を補助します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	シルバー人材センターの運営費・事業費の一部を補助することで、高齢者の就労機会、社会参加等の確保に寄与した。 実績：会員数545名 就業延人員数55,933名	継続	今後も引き続き高齢者の就労機会を提供しているシルバー人材センターを支援していく。	

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針			
46	3	2	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	ボランティアの機会を提供するため、センターの運営を補助します。	②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア連絡誌「センター通心」の発行年3回(7・11・2月)発行 約2,000部/回 ボランティア育成講座を実施。※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	継続	今後も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。		
							③	b	学習成果を地域に還元できた。				○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア連絡誌「センター通心」の発行年3回(7・11・2月)発行 約2,000部/回 ボランティア育成講座を実施。※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
47	3	2	高齢者支援課	高齢者在宅生活支援事業	福祉タクシー利用券によるタクシー利用料の助成事業を通じて、高齢者の社会参加を促進します。	②			乗車1回あたり、料金の半額(上限1,000円)を助成し、高齢者の社会参加を促進できた。 実績：交付者数71名 延利用枚数594枚 決算額460,650円	継続	次年度も引き続き、福祉タクシー利用券を交付することで高齢者の社会参加を促進する。			
							d	(移動手段にかかる費用の助成)				○		
48	3	2	障害者支援課	障害者自立支援給付事業	介助者が外出をサポートする同行援護、行動援護、移動援護を提供し、障害のある人の社会参加を促進します。	④			障害者の外出をサポートするサービスのうち、視覚障害者(児)を対象とする同行援護、重度の知的障害者(児)を対象とする行動援護を提供し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：同行援護延利用者数384名 行動援護延利用者数210名	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響は続いており、拡大前の状況と比較すると利用者数は減少傾向となったが、次年度も引き続き、サービス提供を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (同行援護 R1:406名→R2:308名→R3:384名 行動援護 R1:274名→R2:217名→R3:210名)			
							d	(障害者の社会参加の促進)				○		
49	3	2	障害者支援課	地域生活支援事業	介助者が外出をサポートする同行援護、行動援護、移動援護を提供し、障害のある人の社会参加を促進します。	④			障害者の外出をサポートするサービスのうち、身体・知的・精神障害者(児)を対象とする移動支援を提供し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：移動支援延利用者数485名	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響は続いており、拡大前の状況と比較すると利用者数は減少傾向となったが、次年度も引き続き、サービス提供を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (R1:707名→R2:459名→R3:485名)			
							d	(障害者の社会参加の促進)				○		
50	3	2	障害者支援課	障害福祉推進事業	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成を通じて、障害のある人の社会参加を促進します。	④			福祉カーの貸出事業を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：福祉カー貸出件数3件	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大と福祉カーの故障により、貸出件数は前年度よりも減少となったが、次年度も引き続き福祉カーの貸出事業を継続し、障害者の社会参加を促進させる。(減少幅 R2:36件→R3:3件)			
							d	(障害者の社会参加の促進)				△		
51	3	2	障害者支援課	在宅生活支援事業	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成を通じて、障害のある人の社会参加を促進します。	④			重度の障害者を対象とした福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成事業を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：福祉タクシー券延利用枚数6,078枚	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響は続いており、拡大前の状況と比較すると利用枚数は減少傾向となったが、次年度も引き続き、助成事業を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (R1:9,328枚→R2:6,150枚→R3:6,078枚)			
							d	(障害者の社会参加の促進)				○		
52	3	2	障害者支援課	意思疎通支援事業	手話通訳者(市または千葉県聴覚障害者協会登録の手話通訳者)の派遣等を行い、意思疎通に手話等を必要とする人と、健常者との意思疎通支援を行います。	④			意思疎通に手話等を必要とする人への手話通訳者の派遣等を実施し、障害のある方の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：手話通訳者延派遣件数261件	継続	通次年度も引き続き手話通訳の派遣と、テレビ電話を活用した遠隔手話通訳も継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (増加幅 R2:240件→R3:261件)			
							d	(障害者の社会参加の促進)				○		



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針																		
53	3	2	社会教育課	市民芸術公演事業	市民団体と共催により展示会等を実施し、文化活動を活性化します。				市民団体と共催により郷土作家展と演劇公演を実施し、多様な芸術文化を鑑賞できる場を提供することができた。市政だよりやホームページを活用し、広く周知できた。また、学校音楽鑑賞教室では優れた音楽を鑑賞する機会を提供することができた。なお、子どもミュージカルは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	継続	次年度は新型コロナウイルス対策を考慮しながら、市民団体と共催する展示会等の開催に努める。																		
									①			b	参加対象者に広く周知できた。	○															
									②			c	学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○															
													市民団体と共催により郷土作家展と演劇公演を実施し、多様な芸術文化を鑑賞できる場を提供することができた。また、学校音楽鑑賞教室では優れた音楽を鑑賞する機会を提供することができた。幅広い年齢層を対象として参加者を募集することにより、学習成果が発表できるよう援助できた。																
									③			c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○															
													優良な実績を持つ市民団体との共催により展示会と演劇公演を実施し、多様な芸術文化を鑑賞できる場を提供した。また、「実体」による芸術を提供することにより、学習意欲の向上へ寄与することができた。																
									④			c	スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境(人材)を整えた。	○															
													幅広い人材を対象として参加者を募集することにより、学習成果が発表できるよう援助した。																
									54			3	2	社会教育課	芸術文化活動支援事業	市民ギャラリー等を利用し、市民団体主体の芸術文化活動を活性化します。				a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	市民ギャラリーの貸出及び芸術文化振興助成金交付により学習成果の発表の場を提供した。また、インターネットを活用することにより、市民ギャラリーの利用方法や芸術文化振興助成金交付申請書を手軽に入手できるようにし、学習意欲の向上につなげた。	継続	次年度も引き続き市民ギャラリーの貸出等事業を実施し、芸術文化活動の活性化を図る。				
																				①									
																				展示会・発表会等の幅広い分野を事業対象とすることにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果発表をできるよう援助した。市民ギャラリーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や利用辞退があり開館日数が減少した。実績、開館日数120日、来場者数5,744名、貸出団体18件であった。									
③	c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○																										
		展示会・発表会等の幅広い分野を事業対象とすることにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果発表をできるよう援助した。																											
④	c	スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境(人材)を整えた。	○																										
		展示会・発表会等の幅広い分野を事業対象とすることにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果発表をできるよう援助した。																											
55	3	2	社会教育課	文化財保護管理事業	地域の文化財の保存に取り組みます。					a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。									○	「よもやま話」については、ホームページを活用し、利便性の高い学習機会を提供した。 実績：ホームページに1回掲載	継続	次年度は新型コロナウイルスの状況を注視しながら、例年の事業を行えるように努める。						
										①																			
																													②
										文化財ガイドボランティアの会」と共同で、文化財散歩を企画し、市民の知識を活かす場を提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大状況により中止した。																			
									③	c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○																	
											「よもやま話」のホームページの掲載、博物館等への資料貸出等の文化財活用をすすめることにより、学習者の意欲に応じて情報収集ができるよう努めた。																		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針										
56	3	2	社会教育課	市史編さん事業	歴史資料の収集・整理を行い、目録集や研究誌を発行します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	過去に刊行した四街道市史等について、購入や内容に対してメールでの問い合わせに応じた。	継続	近現代史の令和5年度発行に向けて、史料の収集・整理を行う。また、次年度も引き続き市史発刊の25か年計画に合わせ史料の収集調査を行っていく。										
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○	戦前戦後の貴重な約1,100枚の写真を掲載している市制施行40周年記念誌「写真に見る四街道の歴史」をR4.3月に刊行した。また、市史発刊の25か年計画に合わせ史料の収集調査を行った。								
57	3	2	社会教育課	市民大学講座事業	市民大学講座修了者による運営委員会を組織し、講座の企画・運営を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	一般課程・専門課程ともに内容を精査することで、現役世代も参加しやすいようにした。 また、ホームページ、公共施設でのチラシの設置等広く周知を行った。 実績：一般課程10講座（新型コロナウイルス感染症の影響により3講座休講・2講座は講師都合により中止） 専門課程8講座	継続	次年度も引き続き運営委員会と協働で企画・運営する予定だが、新型コロナウイルス感染拡大状況に注視し、開催時期等を含め慎重に検討していく。										
							b 参加対象者に広く周知できた。	○													
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				◎	一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。								
								b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。				◎									
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎	市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。								
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。				◎									
							④						障害者が講師となって「障害者の現状や手助けしてほしいこと」等講演してもらい、学習成果を地域に還元できる講座ができないか検討した。								
								d (講師としての検討を行った)				◎									
							⑤						一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。								
								c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。				◎									
							58	3				2	スポーツ青少年課	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	市民団体の協力を得て、スポーツ教室等を実施します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	感染症の影響により活動休止となり、その旨の周知を行うとともに、次年度の活動再開に向けて、会員募集を行った。	継続	次年度も引き続き活動の支援を継続していくが、活動にあたっては感染症対策の徹底を求めていく。
																	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。			
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	△	感染症の影響により活動休止となった。																		



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針		
59	3	3	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域づくりの人材育成や市民活動活性化のための講座を実施します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	地域づくりの主体となる団体の情報交換・意見交換の場を提供した。	継続	次年度も引き続き地域づくりサロン等で立ち上がった市民団体の支援や、地域課題解決に向けた取り組みを行い、地域活性化につながる人材の育成を図る。		
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○					
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎					
							b 学習成果を地域に還元できた。	○					
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○					
							③	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいがづくりの支援の確保に寄与した。 実績：コーディネーターによる相談・援助（常設） ボランティア連絡誌「センター通心」の発行年3回（7・11・2月）発行 約2,000部/回 ボランティア育成講座を実施。※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
b 学習成果を地域に還元できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。 実績：コーディネーターによる相談・援助（常設） ボランティア連絡誌「センター通心」の発行年3回（7・11・2月）発行 約2,000部/回 ボランティア育成講座を実施。※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止											
60	3	3	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携し、ボランティアを担う人材を育成します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。 実績：コーディネーターによる相談・援助（常設） ボランティア連絡誌「センター通心」の発行年3回（7・11・2月）発行 約2,000部/回 ボランティア育成講座を実施。※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	継続	次年度も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○					
							③	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				○	
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎					
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○					
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				○	森林ボランティア養成講座の参加者募集時に、既に決まっていた実施日に対し参加者からの曜日の変更等の希望は特に聞かれなかった。 実績：参加者7名（延18名）
b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	森林ボランティア養成講座では市内ボランティア団体の活動紹介も併せて行い、講座受講後にボランティア団体への参加がスムーズに行える場を提供できた。 実績：四街道フォレストへの登録1名											
62	3	3	社会教育課	生涯学習推進事業	・地域人材を登録・活用するアシスト事業を推進します。 ・生涯学習推進員の配置を検討します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	生きがいがづくりアシスト事業においては、講師との調整により日程が選べるようになっている。市政だより・ホームページ・ガイドブックへの掲載に加え、一日体験講座を実施し、事業の紹介に努めた。また広報活動としてチラシのQRコードを掲載し、周知を促進することができた。	継続	次年度も引き続き生きがいがづくりアシスト事業を実施し、知識や技能を生かす場を提供していく。		
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎					
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎					
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎					
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎					
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎					
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				◎	生きがいがづくりアシスト事業においては、専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらっており、高齢者の活躍の場を提供できた。 実績：登録講師33名
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎					
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎	生きがいがづくりアシスト事業においては、事業の紹介を目的に複数の講師の協力のもと「一日体験講座」を実施し、市民と講師だけでなく、同じ内容に興味を持った受講生同士の交流にもつながった。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加人数を制限して実施した。 実績：講座数7講座 参加者56名
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎					
							④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。				○	生きがいがづくりアシスト事業においては、制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき利用希望者はいなかった。
							⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。				○	生きがいがづくりアシスト事業には「芸術・文化」「スポーツ・レクリエーション」「家庭生活・趣味」等、多くの分野の講座が登録しており、安心して育児が行える環境を提供できた。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針											
63	3	3	社会教育課	市民大学講座事業	地域活性化を担う人材を育成します。		①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	一般課程・専門課程ともに内容を精査することで、現役世代も参加しやすいようにした。 また、ホームページ、公共施設でのチラシの設置等広く周知を行った。 実績：一般課程10講座（新型コロナウイルス感染症の影響により3講座休講・2講座は講師都合により中止） 専門課程8講座	継続	次年度も引き続き実施し、多様な学習情報を提供するとともに、生涯学習の成果を活用し、まちづくりに貢献できる人材の育成を図ります。										
								b 参加対象者に広く周知できた。	○													
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎													
								b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎													
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎				市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。									
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎													
							④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○				障害者が講師となって「障害者の現状や手助けしてほしいこと」等講演してもらい、学習成果を地域に還元できる講座ができないか検討した。									
								d (講師としての検討を行った)	◎													
							⑤						一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。									
								c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎													
							64	3	3				スポーツ青少年課	青少年育成活動支援事業	地域活性化を担う、ジュニアリーダーを育成します。		⑤		子ども会育成連合会に補助金を交付し、活動支援を行った。(伊幡郡市30,200円、四街道市165,645円) また、補助金を活用して市内の小学生及び中学生を対象とした講習会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響から当初予定していた活動回数等が例年に比べ少なかった。	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルスのまん延状況を見ながら各単位子ども会育成者を対象に講習会を開催し、子ども会の活性化を図る。また、関係諸団体との協力により市内行事への参加や地域のコミュニケーションづくりを図る活動に対して支援を行う。	
																		c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。				○
							65	3	4				危機管理室	地域災害対策事業	防災訓練や乳幼児の健診時に「防災ハンドブック」を配布し、防災意識の高揚を図ります。		③	b 学習成果を地域に還元できた。	○	母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布することで、子育て家庭に対する災害時の備え等の周知に努めた。	継続	次年度も引き続き防災訓練を実施し、また防災ハンドブック及び子育て情報ブック「すくすく」の配布を行うことで市民の防災意識の向上に努める。
																		c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○			
66	3	4	政策推進課	男女共同参画推進事業	市民団体が実施する講座・イベント等の開催を支援し、男女共同参画意識の醸成に努めます。		①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援した。3年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、男性のための応援料理教室として、簡単にできる調理レシピをHPと市政だよりに掲載する形で2回実施 1 みんな応援簡単レシピ～「おとう飯」はじめよう！ 第1回 R3.6.10実施 市政だよりに掲載R3.7.15 市ホームページに掲載R3.6.15 PV数333回(R3.6-R4.3) 2 みんな応援簡単レシピ～「おとう飯」はじめよう！ 第2回 R3.10.7実施 市政だよりに掲載R4.1.1 市ホームページに掲載R3.10.12 PV数384回(R3.10-R4.3)	継続	次年度も引き続き男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援する。										
								b 参加対象者に広く周知できた。	◎													
								c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×													
67	3	4	自治振興課	防犯対策事業	防犯意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。		③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	様々な団体が協力してイベントが開催され、防犯意識の高揚を図るための啓発活動が展開された。	継続	次年度も引き続き学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を展開していく。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、イベントの開催等について判断していく必要がある。										
								b 学習成果を地域に還元できた。	◎													
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎													
68	3	4	自治振興課	交通安全対策事業	交通安全意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。		③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を行い、学習意欲の向上を図ることができた。	継続	次年度も引き続き学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を行い、学習意欲の向上を図る。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、イベントの開催等について判断していく必要がある。										
								b 学習成果を地域に還元できた。	◎													
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎													
69	3	4	社会福祉課	人権擁護事業	人権週間に合わせた啓発活動を行い、人権意識の高揚を図ります。		①	b 参加対象者に広く周知できた。	◎	人権週間に合わせた啓発活動として、JR四街道駅改札前に横断幕を設置、市広報紙での記事の掲載を行い、市民の人権意識の高揚が図れた。	継続	次年度も引き続き人権週間に合わせた啓発活動を行い、人権意識の高揚を図る。										

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針			
70	3	4	環境政策課	環境保全対策事業	地球温暖化防止の意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	各家庭から排出される二酸化炭素の量を数値として見える化することで、自己の環境意識を高め、省エネルギーへの取り組みを助長できる環境家計簿を市ホームページで入手できるようにしている。なお、この取組等に係る費用の支出はない。	継続	次年度も引き続き環境家計簿を利用した日常生活における環境負荷の見える化の取組の促進や環境出前講座等の活動の支援により、地球温暖化防止の意識の高揚を図るための啓発活動を行う。			
							b 参加対象者に広く周知できた。	○						
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×						
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				×	四街道市在住の千葉県地球温暖化防止活動推進員(千葉県より委嘱)で組織される四街道ストップ温暖化委員会が実施する市内小学校4年生を対象とした環境出前講座や自治会に対する成人向け環境家計簿講座等の活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を見合わせた。また、産業まつりも中止となったため、同委員会による「地球温暖化防止コーナー」での啓発活動も実施していない。	
							b 学習成果を地域に還元できた。	×						
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×						
71	3	4	廃棄物対策課	ごみ減量化・リサイクル推進事業	ごみの減量・リサイクル意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	四街道高校料理研究部の協力により、ちばユニバーサル農業フェスタにおいて、通常は廃棄してしまう食材(不揃いの野菜等)を使った商品を販売し、食品ロス削減を啓発した。また、四和小4年生の総合学習の時間を利用して、市内のごみ処理の現状や日常生活で簡単に取り入れることができるごみの減量と分別方法について授業を行った。	継続	次年度も引き続き食品ロス削減の啓発をはじめ、ごみの減量や分別、資源化に関する啓発活動を行っていく。			
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎						
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎						
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				×	新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座の申し込みがなかった。	
							b 学習成果を地域に還元できた。	×						
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×						
72	3	4	産業振興課	消費者教育推進事業	消費生活に関する意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	消費者の学習機会の確保、また、その時代に関心のある講座を取り入れるなど、内容の充実も図り、賢い消費者の育成に取り組んだ。また、市政だより、市ホームページを使用し広く周知を行ったが、イベントでの啓発活動は中止となった。	継続	次年度も引き続き「消費生活講座」の同回数開催を維持し、消費者学習機会の確保、また、その時代に関心のある講座を取り入れるなど、内容の充実も図り、賢い消費者の育成に取り組んでいく。			
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○	市民の消費生活に関する意識の向上を図るため、「消費生活講座」を実施できた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、例年行っている消費生活展と出前講座は中止となった。 実績：消費生活講座実施回数6回 延受講者数173名	
							①	b 参加対象者に広く周知できた。				○		
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○		
73	3	4	社会教育課	人権教育事業	人権週間に合わせた講演会を開催し、人権意識の高揚を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	△	市民団体「みんなで人権を考える会」と関係部署との協議の結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「人権講演会」は中止となった。	継続	次年度も引き続き効果的に啓発活動を行い、人権意識の高揚を図る。			
							b 参加対象者に広く周知できた。	△						
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○	毎月行っている、市民団体主催の定例会に参加し、人権に関する課題を掘り下げて学習できるよう、市民の企画力を引き出した。	
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○						
							④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。				△		市民団体「みんなで人権を考える会」と関係部署との協議の結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「人権講演会」は中止となった。
							①	b 参加対象者に広く周知できた。				○	新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期とした。代替事業として、これまでのふるさとまつりにまつわる「記憶」を市民等から募集し、紹介する「ふるさとの記憶展」を開催した。	
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○				新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期とした。代替事業として、これまでのふるさとまつりにまつわる「記憶」を市民等から募集し、紹介する「ふるさとの記憶展」を開催した。		
74	4	1	自治振興課	ふるさとまつり事業	盆踊りや本御輿の参加を通じて、文化的伝統を次の世代に伝え、学習する機会を提供する市民参加型のまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	新型コロナウイルス感染症の影響による参加者、来場者の安全確保において大いに課題がある。	その他				
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。			○			
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○						

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
75	4	1	産業振興課	産業まつり実施事業	市内産農産物や商工業製品の展示、即売を通じて、市内産産を市民に広く知っていただき、生産者・商工業者と消費者との相互理解を深めるまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	△	3年度で45回目を迎える市の大イベントであり、広く認知されている事業だが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面による協議の上で延期となった。	継続	次年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による参加者、来場者の安全確保において大いに課題がある。
76	4	1	社会教育課	市民文化祭事業	芸術文化活動の発表・展示のほか、体験教室等により、市民の芸術文化活動への意欲を高めるまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	実行委員会と共催し、展示会・発表会等の幅広い分野の事業を展開することにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果が発表できるよう援助した。また、市民文化祭について、市政だより、ホームページを利用し、市民へ周知した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客(関係者のみ)開催であった。	継続	次年度は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、市民文化祭が行えるよう努めていく。
					②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	△	幅広い年齢層を対象として、展示会・発表会等の幅広い分野の事業を展開することにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果が発表できるよう援助した。			
					c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	△	なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客(関係者のみ)開催であった。				
					③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	△	幅広い年齢層を対象として、展示会・発表会等の幅広い分野の事業を展開することにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果が発表できるよう援助した。			
							b 学習成果を地域に還元できた。	△	なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客(関係者のみ)開催であった。		
							a ライフステージに合わせた学習を提供できた。	○	千葉県立四街道特別支援学校等と連携して「児童生徒作品展」を開催し、市内小中学校の情操教育の成果を発表する機会と場を提供した。児童生徒作品展については、12校の小学校で716作品、5校の中学校で305作品、千葉盲学校で20作品、四街道特別支援学校で20作品、計1,061作品を展示した。鑑賞者は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者のみとなった。		
77	4	1	スポーツ青少年課	ガス灯ロードレース大会事業	市民の体力向上や健康増進を図るほか、パラロードレース大会を同時に開催し、障害のある人もない人も楽しめる大会を開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	ガス灯ロードレース大会の開催は、感染症の影響により中止となったが、その旨の周知を市ホームページや市政だよりを通じて行った。	継続	次年度の大会の実施に向けて、コロナ禍の続く情勢を踏まえ、「密」の回避等、感染症対策を検討していく。
					②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	△	感染症の影響により中止となった。			
					④	c スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境(人材)を整えた。	△	感染症の影響により中止となった。			
78	4	2	自治振興課	コミュニティ施設維持管理事業	地域活動の拠点となる区・自治会の集会所の整備等に対し補助を行い、コミュニティ活動の推進を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	施設の整備等に対し補助を行うことで、年間を通じ施設の活用を推進した。 実績：自治会館への補助(修繕費:9件、備品費:5件、管理費:66件)	継続	次年度も引き続きコミュニティ施設維持管理事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援する。
					②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	施設の整備等に対し補助を行うことで、高齢者にとって活動しやすい場を提供できた。			
					b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎					
						c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	◎				
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	施設の整備等に対し補助を行うことで、市民と講師だけでなく、受講生同士の交流にもつながった。		
						b 学習成果を地域に還元できた。	◎				
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎			

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
79	4	2	社会福祉課	シニア憩いの里運営支援事業	施設維持管理費の一部を補助し、高齢者の集いの場の確保・維持に努めます。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	地域住民等が自主的に運営し、高齢者が自由に集い交流できることを目的とする施設に対し、施設維持管理費の一部を補助できた。 実績：全中学校5地区中2施設(千代田・旭中学校地区)設置	継続	次年度も引き続き1中学校区1施設を目標に全地区に設置できるよう努めていく。
80	4	2	社会福祉課	総合福祉センター管理運営事業	施設の維持保全を行い、各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備に努めます。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	施設を利用している各種団体やサークルに対し、安定的に利用のできる活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行った。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握にも努めた。 実績：開館日数322日 利用者数36,171名 (児童センター8,028名、老人福祉センター11,653名、地域福祉センター16,490名) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R3.9月は閉館	継続	次年度も引き続き利用者のニーズを把握し、施設の維持保全に努めていく。
81	4	2	社会福祉課	南部総合福祉センター管理運営事業	施設の維持保全を行い、各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備に努めます。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	施設を利用している各種団体やサークルに対し、安定的に利用のできる活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行った。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握にも努めた。 実績：開館日数322日 利用者数61,683名 (児童センター12,826名、老人福祉センター8,841名、ふれあいセンター40,016名) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R3.9月は閉館	継続	次年度も引き続き利用者のニーズを把握し、施設の維持保全に努めていく。
82	4	2	子育て支援課	児童センター運営委託事業	子育て支援を推進する拠点施設として、児童センターの環境整備に努めます。	⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行った。 なお、センター内の遊具等については、事故発生時・緊急時対応マニュアルに記載している「安全点検チェック表」に基づき管理している。	継続	次年度も引き続き経年劣化による修繕を必要とする箇所が発生しやすいことを念頭に、安全確認を行うとともに修繕の必要性が生じた際は、利用ニーズに合わせて効果的且つ計画的な修繕となるよう対応していく。また、施設の消毒や換気等感染症の予防対策に取り組み、来館者にとって安心して利用しやすい環境整備に取り組んでいく。
83	4	2	保育課	こどもルーム運営事業	小学生が放課後に学習や遊びを行い、生活の場となるようこどもルームの環境整備に努めます。	③ ⑤	a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○ ○	各こどもルームで「自習」の時間を設けた。 実績：こどもルーム数23ルーム 宿題を行える環境を整備することで、保育の必要性が有る家庭内においても教育がスムーズに行えるよう支援した。	継続	こどもルーム需要が増加することが見込まれており、人数の増加に伴うことで保育の質を低下させないよう、今後も引き続き環境整備に努める。
84	4	2	都市計画課	都市公園・緑地維持管理事業	スポーツ施設の改修等を行い、スポーツ活動の環境整備に努めます。	① ② ③	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○ ○ ◎ ◎ ◎	庭球場などの有料公園施設については、新型コロナウイルスの影響で施設の閉場があったが、生涯学習活動の場を提供することができた。 スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の安全性を確保し、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の健康づくりの場を提供することができた。 スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の安全性を確保し、生涯学習活動の場を提供することができた。	継続	次年度も引き続き経年劣化した公園施設の改修等を行うことにより、身近な学習の場となるスポーツ施設の環境の整備に努めていく。
85	4	2	教育総務課	教育委員会事務局運営事業	教育関係の情報コーナーを設置し、生涯学習の推進を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	第二庁舎の1階スペースに「学習情報コーナー」を常設し、生涯学習に関するポスターの掲示やパンフレット等の配架を行った。第二庁舎の開庁日(時間中)は、いつでも、だれでも情報収集に立ち寄ることができるようになっている。 実績：開庁285日	継続	次年度も引き続き「学習情報コーナー」を設置し、市民の生涯学習活動を支援します。



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針				
86	4	2	社会教育課	公民館管理運営事業	社会教育を推進する拠点施設として公民館の環境整備に努めます。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	必要に応じて修繕・工事などを実施し、多様な世代が使用する公民館の環境整備に努めることができた。	継続	次年度も引き続き公民館の環境整備に努めていく。				
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	◎							
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎			
							⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。				◎			
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				◎	高齢者の知識を活かす場を提供するため、文化財活用員や四街道市の昔の様子をよく知る高齢者を講師に迎え、歴史民俗資料室の見学対応ほか、民具や文化財の出前授業等を実施した。なお、歴史民俗資料室については、八木原小学校の大規模改修に伴い、R3.10.1から休館している。実績：歴史民俗資料室見学 小学校3校(226名)、出前授業 小学校9校(496名)、盲学校1校(4名)	継続	次年度以降も引き続き歴史民俗資料室の見学会や出前授業を行っていくが、歴史民俗資料室については、八木原小学校の大規模改修に伴い、R3.10.1からR5.3.31まで休館するため、4年度の歴史民俗資料室の見学会は実施しない。
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○							
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○													
d (モノから学ぶ視点を提供することができた)	○														
①	b 参加対象者に広く周知できた。	◎	修繕や改修工事を計画的・効率的に執行することで、施設と利用者の保身を図るとともに、指定管理者との連携により利用者への適切なサービスの提供に努めた。	継続	次年度も引き続き施設の経年劣化の進行による修繕や改修工事の計画的・効率的な執行をしていく。また、コロナ禍の続く情勢を踏まえ、施設の供用に際しても「密」の回避等、感染症対策を継続していく。										
b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎														
②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎													
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎													
④	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎				緊急事態宣言を受け臨時休館したが、臨時窓口を設け予約資料の貸出や返却の受付など利用者への対応にあたった。年間開館日数は300日、平日は午後7時まで開館する等、多様な働き方をとする市民が来館しやすい施設の運営に努めた。	継続	次年度も引き続き経年劣化に対応した修繕を行う。							
b 参加対象者に広く周知できた。	◎														
c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎														
③	d (生涯学習施設の維持管理)	○													
④	d (安全に配慮した施設整備)	○													
③	d (安全に配慮した施設整備)	○													
89	4	2	図書館	図書館管理運営事業	市民が快適に学習・読書ができる生涯学習施設として計画的な改修等に努めます。	③	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	空調室ドレンパン補修工事を実施し施設の維持を図った。	継続	次年度も引き続き経年劣化に対応した修繕を行う。				
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎							
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎							
90	4	2	図書館	資料管理整備事業	市民のニーズを大切に資料収集や多様な学習に役立つ図書等を提供し、市民の生涯学習の充実を図ります。	③	a インターネットによる蔵書検索・予約により、来館を要さず必要とする資料の所蔵状況を自由に調べ、確保する環境が整っている。また、紙媒体の資料のほか電子書籍の整備により、いつでも、どこにいても読書が楽しめる環境整備を図った。	◎	インターネットによる蔵書検索・予約により、来館を要さず必要とする資料の所蔵状況を自由に調べ、確保する環境が整っている。また、紙媒体の資料のほか電子書籍の整備により、いつでも、どこにいても読書が楽しめる環境整備を図った。	継続	次年度も引き続き、紙媒体の資料とともに電子書籍の購入により、市民の多様なニーズに応え、生涯学習の充実を図る。				
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎							
							d (市民の生涯学習推進に努めた)	◎							

第4次四街道市生涯学習推進計画  
策定方針（案）

令和5年1月

四街道市教育委員会

## 1. 計画策定の趣旨

本市では、平成8年3月に、学びたい人が各々の目的や手段に応じ、いつでも学習活動ができる、うるおいと活力を生む生涯学習社会の実現を目指し、「豊かな心と個性を育む文化・教育のまち」を基本目標とした「四街道市生涯学習推進計画（四街道ま・な・びプラン）」を策定しました。

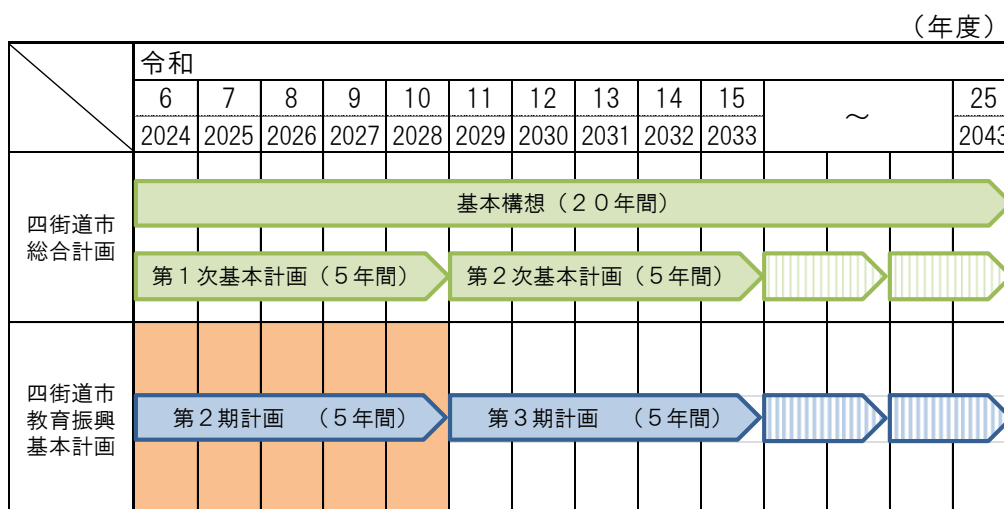
また、平成21年3月には、その間の社会情勢や生涯学習の方向性等の変化に対応した「学びあいで輝く生涯学習社会づくり—互学協働のまち—」を基本理念とした第2次の「四街道市生涯学習推進計画」を10か年計画として策定し、計画的な生涯学習の推進に取り組んできたところです。

その後、平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」において、基本的な方針と教育政策の目標が示され、これまで本市が進めてきた生涯学習推進の取り組みの成果を継承し、新たに国の示した基本的な方針に沿って、本市の生涯学習施策を総合的に推進する指針として「四街道市生涯学習推進計画（第3次）」を策定しました。

第3次計画が令和5年度をもって終了することから、その成果や諸課題等を踏まえ、更なる生涯学習の推進を図るため、新たに「第4次四街道市生涯学習推進計画」（以下「第4次計画」という。）を策定します。

## 2. 対象期間

第4次計画の対象期間は、市の最上位計画である「四街道市総合計画」の第1次基本計画（以下「総合計画」という。）と「四街道市教育振興基本計画」の第2期計画（以下「教育振興基本計画」という。）と整合を図り、5年間とします。



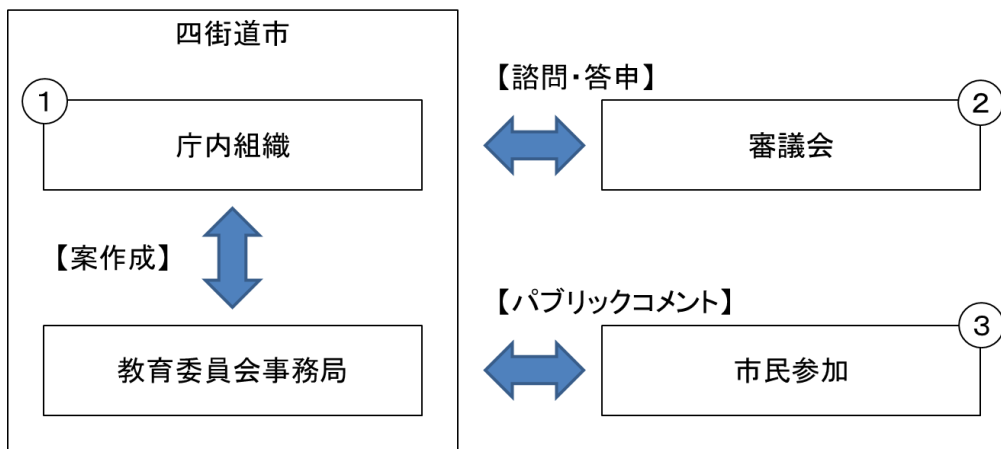


### 3. 策定の方法

#### (1) 基本的な考え方

- ・国及び県が定める「教育振興基本計画」等を参酌します。
- ・市が新たに策定する「総合計画」、「教育振興基本計画」と整合を図ります。
- ・第3次計画の成果や課題、社会状況の変化等を踏まえ、作業を進めます。

#### (2) 策定体制



##### ① 庁内組織

- ・「四街道市生涯学習推進本部」  
⇒「生涯学習に関する総合的な企画」と「施策の調整及び推進」に関する  
ことを行います。  
<構成> 本部長（市長）、副本部長（副市長及び教育長）  
本部員（関係各部の部長）  
幹事会（関係各課の課長）  
検討委員会（関係各課の代表係長）

##### ② 審議会

- ・「四街道市生涯学習審議会」（地方自治法第138条の4第3項）  
⇒市民、関係団体、外部有識者等で構成し、市長の諮問に応じ、生涯学習  
に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項について調査し、  
及び審議します。

③ 市民参加

- ・「意見提出手続（パブリックコメント）」（市民参加条例第7条第1項）  
⇒策定過程における透明性の確保と幅広い意見・要望の把握に努めます。

4. スケジュール

第4次計画は、令和5年度中に策定するものとします。なお、個別の作業工程については、その実施段階において、必要な調整を行うこととします。

年度	月	庁内組織	審議会	市民参加
R 4	1月		スケジュール等確認	
	2月	計画案作成	適宜開催	
	3月			
4月				
R 5	5月			
	6月			
	7月		諮問	
	8月	計画案決定	答申	
	9月			パブリックコメント
	10月	パブコメ意見対応		
	11月	最終案決定	パブコメ結果報告	結果公表
	12月	市議会へ報告		
	1月	計画書作成 (印刷製本)		
	2月			
3月				
R 6	4月	第4次計画運用開始		